



## 外国出張報告書

平成 27 年 3 月 17 日

1. 出張国名 ガーナ、モザンビーク

2. 出張月 平成 27 年 1 月～3 月

3. 出張目的

- 1) 実証調査対象村の稲作に関するベースライン調査等：B
- 2) ナカラ回廊の農家圃場試験参加農家の記帳簿のモニタリング：A

4. 成果の概要

- 1) 小規模ため池の利用技術開発のための実証調査対象村であるタマレ近郊の Nwogu 村にて、ベースライン調査の一環として稲作農家調査の準備、モニタリングを行うとともに、地元仲買人による主要作物の買取価格の聞き取り、収穫物、種子の計量などの補足調査を行った。また、村の首長、子池を管理する農民との意見交換会を開き、子池の水利用・管理の基本方針などについて合意した。
- 2) ナカラ回廊中部（ザンベジア州グルエ郡）、西部（ニアサ州シンプニラ郡）の農家試験対象村において、IIAM の社会経済研究者（CP）とともに、参加農家による 2014-15 年雨季作の記帳簿の中間点検・訂正・指導、並びに圃場面積の測定指導を行った。また、ベビー圃場の作付歴、農家の土壌肥沃度感などに関する調査を並行して行った。